

組織目標管理シート

年度	平成28年度
組織名	西蒲区社会福祉協議会
組織の方針	住民が地域における福祉課題について関心をもち、福祉活動に参加する住民主体による「お互い様の地域づくり」の実現に向け、関係機関・団体と連携、協働し推進していきます。

作成日	平成28年9月13日
修正日	
評価日	平成29年4月20日

No.	目標	指標					主な取り組み内容	目標達成状況 未達成理由	評価		
		項目	H26実績	H27実績	H28目標	H28結果				補足・参考指標	
1	地域のあらゆる方々が住み慣れた地域で、安心して豊かに暮らせる「お互い様の地域づくり」を進めます。	新潟市の取組みに基づく地域包括ケアシステムの体制整備	—	・2圏域(岩室圏域、湯東・中之口圏域)	・2圏域(巻圏域、西川圏域)	・全エリア(4圏域)で2層協議体を立上げ ・2層協議体を立上げ及び推進員の選出を完了	・全エリア(4圏域)で2層協議体を立上げ	・西蒲区役所と協働で、残す圏域を対象に勉強会を開催し、協議体を立ち上げSCを選出しいただく。 ・既に立ち上がっている圏域は「新しい総合事業(サービスB)」への検討を進める。	・西蒲区役所と協働で、残す圏域を対象に勉強会を3回開催し、協議体を立ち上げSCを選出した。 ・既に立ち上がっている圏域は生活支援の拠点「通いの場」を立上げた。	達成	
		地域福祉活動計画推進のため座談会を開催	—	—	・モデルハウスの立上げ ・運営団体の組織化	・モデルハウス「にしかんの茶の間」の立上げ ・運営団体「レラ」の組織化	・モデルハウスは、区内に1カ所 ・運営団体は、各5地区の住民から参画	・モデルハウスの設置について、協議体にお諮りした後、家主と契約後に支え合い活動の拠点として、各地域の担い手育成を進める。	・11月28日にモデルハウス「にしかんの茶の間」をオープン。 ・運営団体「レラ」を立上げ自主運営の支援を行った。 ・一回当たり平均28.3人の利用	達成	
		地域での支え合い活動の必要性を住民に理解していただけるよう研修会を開催	—	・開催1回 ・参加者86名	・開催1回 ・参加者100名	・全コミ協エリアで開催(9コミ協)	7コミ協	・単位はコミ協又は地区社協	・ワークショップ形式で、昨年度の進捗状況の確認及び今年度以降の取組み事項を検討する。	・各コミ協で目標に向けての取組みは行っているが、全コミ協での座談会開催まで至らなかった。	未達成
		職員が安心・安全に働ける職場の環境整備を進めます。	0回	1回	3回	3回	・衛生管理活動計画に基づき計画的に取り組む。	・衛生委員会を定期的に開催し職場環境、超過勤務、労災事故、公用車事故の現状把握及び防止策を検討する。	・区内の地域包括支援センター(4か所)と協働し、広く住民に呼びかけ、地域包括ケアシステムの理念を共有して有機的な地域活動に繋げることができるよう、研修会を開催する。	・目標数値は達成しているが、理念の共有や住民主体の地域活動へのきっかけとしては、まだまだ不十分であった。 ・区内の地域包括支援センター(4か所)と協働に至らなかった。	未達成
2	職員が安心・安全に働ける職場の環境整備を進めます。	労働衛生法に基づき委員会を開催	0回	1回	3回	3回	・衛生管理活動計画に基づき計画的に取り組む。	・衛生委員会を定期的に開催し職場環境、超過勤務、労災事故、公用車事故の現状把握及び防止策を検討する。	・職場巡視の実施、超過勤務の現状把握等を実施することで、一定の効果が見られた。	達成	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>◎新潟市社協総合計画の基本目標である、地域のあらゆる方々が住み慣れた地域で、安心して豊かに暮らせる「お互い様の地域づくり」を推進するためには、地域包括ケアシステムの構築と地域福祉活動計画の推進を一体的に進めていく必要があるため、今年度の重点目標といたします。</p> <p>◎職員が楽しく、やりがいを持って業務に取り組まなくては、住民の協力は得られない。そのためにも職員が安心・安全に働ける環境整備は大変重要であり、今年度の重点目標といたします。</p>	<p>◎地域包括ケアシステムの構築については、一定の成果があったが、地域福祉活動計画を具体化するための座談会については、着実に実行されている地域と、未だ誰が主体となって実施する計画なのかと疑義を唱える地域があり、温度差が出ている地域がある。次年度以降は、なかなか進んでいない地域を中心に支援をしていきます。</p> <p>また、地域包括ケアシステムの構築と地域福祉活動計画の推進を一体的に進めていくために、関係機関と連絡を密に、しなるべく住民の負担にならないよう、会議の開催方法等の工夫をしていきます。</p> <p>◎地域での支え合い活動の必要性を住民に理解していただけるよう、引き続きあらゆる機会を捉え啓発活動を積極的におこなっていきます。</p>